

## 授業評価アンケート結果(2012 秋)

担当者：杉本憲彦

科目名：物理学 II(実験を含む) 「気象の物理」

実施時期：秋学期最終講義日

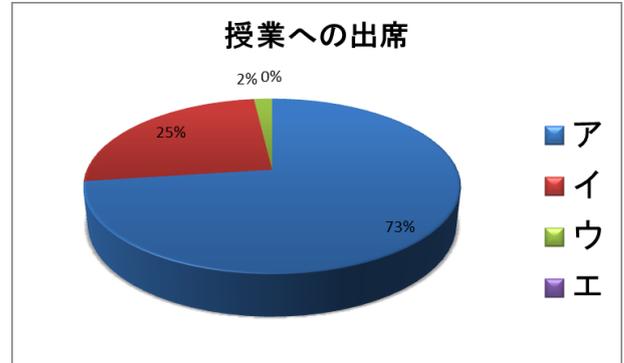
科目設置：日吉

履修者数：131 名

回収数：107 名

### 1. 授業への出席

ア 全部出席した	78 人
イ ほとんど出席した(80%程度)	27 人
ウ あまり出席しなかった(50%程度)	2 人
エ ほとんど出席しなかった	0 人



### 2. 授業について

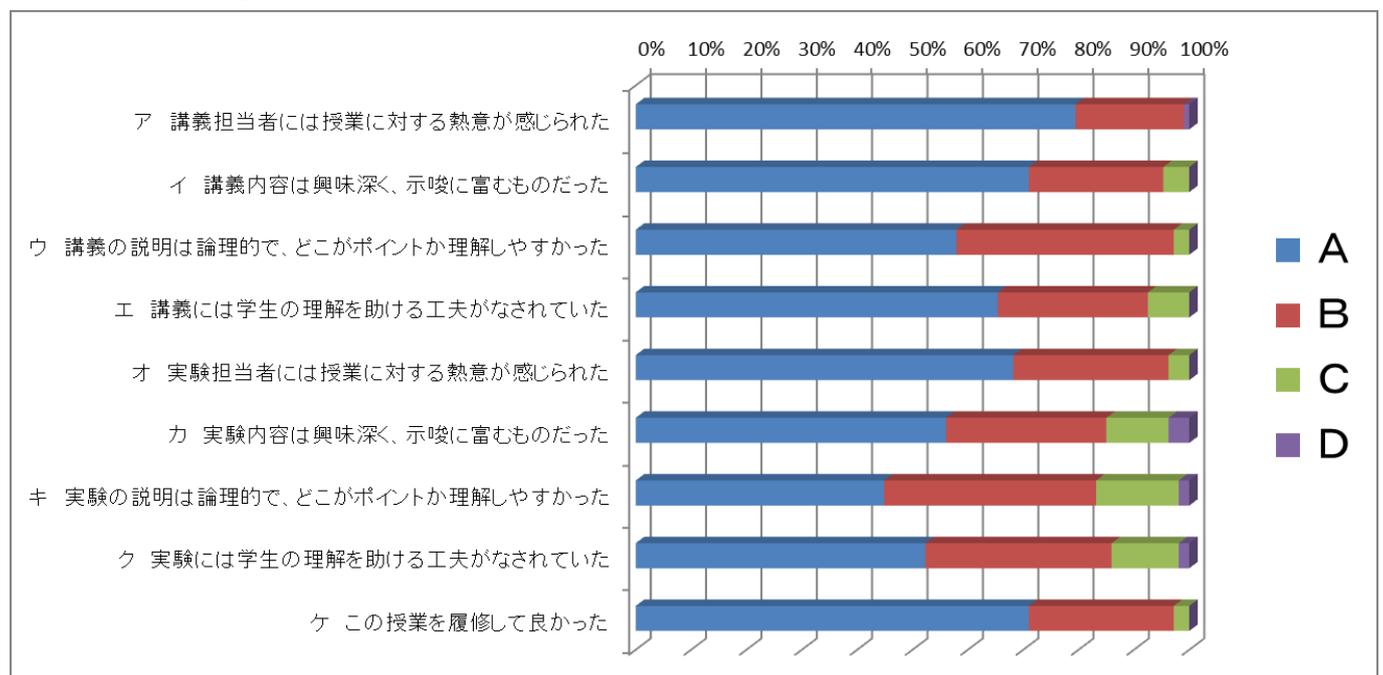
A=そう思う

B=どちらかといえばそう思う

C=どちらかといえばそう思わない

D=そう思わない

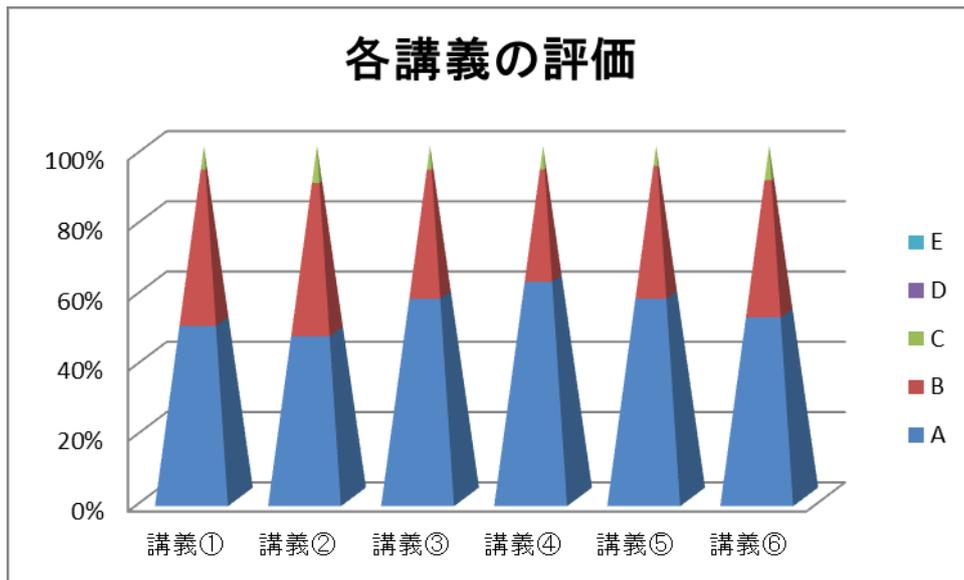
	A	B	C	D
ア 講義担当者には授業に対する熱意が感じられた	85	21	0	1
イ 講義内容は興味深く、示唆に富むものだった	76	26	5	0
ウ 講義の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	62	42	3	0
エ 講義には学生の理解を助ける工夫がなされていた	70	29	8	0
オ 実験担当者には授業に対する熱意が感じられた	73	30	4	0
カ 実験内容は興味深く、示唆に富むものだった	60	31	12	4
キ 実験の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	48	41	16	2
ク 実験には学生の理解を助ける工夫がなされていた	56	36	13	2
ケ この授業を履修して良かった	76	28	3	0



3. 各回の講義内容について

A=とても良かった                      B=どちらかといえば良かった                      C=良くも悪くもない  
 D=どちらかといえば悪かった                      E=とても悪かった

	A	B	C	D	E
①大気の成り立ち - 地球の気温はどうやって決まる? -	53	46	7	0	0
②地球規模の流れ - 低気圧が西風に流されるしくみ -	50	45	11	0	0
③雲と降水 - 雲が浮かび、雨が降る理由 -	61	38	7	0	0
④気象よもやま話 - 日々の天気の舞台裏 -	66	33	7	0	0
⑤明日の天気 - 天気予報の限界とカオス -	61	39	6	0	0
⑥気候の変動 - 地球温暖化と現代物理学 -	55	40	10	0	0



4. 自由記述(以下は主観による抜粋です)

- 文系の授業だけでは培うことのできななかった世界への視点やものの考え方が身についたと思います。
- 期待通りの講義内容でした。この授業を履修して良かったと思っています。
- 気象という身近だが、あまりよく知らない現象について原理を考えることができ面白かった。
- ノーベル賞を取ったような有名で大事な実験をいくつもできたことはよい経験になりました。
- 地球温暖化問題に対して、熱い思いを感じられてよかったです。
- 大学生として知っておきたいことは身についたので良かった。今後の自然科学の発展が楽しみです。
- 講義やレポート作成を通じて物理現象の調べ方も身についたので、今後興味ある自然現象を調べたい。
- △実験は難しいテーマを考えることが多く難しかったが、きちんと考察を考えることが楽しかった。
- △その日の天気だとか、直近で起きた天気の現象のお話をもっと聞いてみたかったです。
- ×難しいのはわかっているが、実験も気象に関係するものがよかった。
- ×少し実験が難しく、何を調べているのか、これを学んだら何がわかるのかが見えづらかったのも事実です。
- ×後期の現代物理学がとっつきづらかった。

5. 講評

昨年度や前期同様、講義に関しては、概ね好評であった。一方で、実験は全体的には高評価なもの、相対的には講義より低くなっている。後期の実験は現代物理を扱う内容が多いため、実験と講義の間に分野の隔たりのあり、難しく感じたようだ。自由記述の希望事項も参考に、さらに良い講義を目指して、新たな実験も開発していきたい。学生さんにとって、気象や地球環境を少しでも考える機会になってくれたらと思う。